

## <目 次>

### ◎ 2014 年 GSK ジャパン研究助成応募要領 (最新版:2014 年 5 月 22 日)

1. 研究助成金の趣旨
2. 応募者の資格
3. 助成対象外の研究
4. 応募方法
5. 応募期間
6. 助成金額 (一部改訂)
7. 助成する研究の期間
8. 審査
9. 審査結果の通知と発表
10. 助成金の交付方法と期日
11. 助成金の使途
12. 募集する分野・疾患
13. 研究成果および会計報告
14. その他

### ◎ 研究助成申請時の留意事項 (最新版:2014 年 5 月 22 日)

1. 応募書類
2. 入力方法
3. ヒトサンプルを研究に用いる場合の追補事項
4. 提出書類・ファイル
5. 応募先
6. 応募締切日
7. お問い合わせ先
8. その他

## 2014年 GSK 研究助成 応募要領

### 1. 研究助成金の趣旨

「GSK 研究助成」は、医学・生命科学および関連する科学の領域における若手研究者の創造的な研究を助成します。

### 2. 応募者の資格

2-1 応募者は、日本国内の大学、および法令上研究機能をあわせ有する病院に所属し、博士号または同等の研究歴を有する研究者とします。(2015年3月末までに取得見込みの研究者を含む)

2-2 応募者は、所属する機関の長の了解を得た者とします。(申請書に了解が得られている旨を記載してください)

2-3 応募者は、博士号取得後の研究者、ないし大学の助教クラスの若手研究者を想定しております。

従いまして、所属機関・施設の講師以上及び管理職に該当する研究者の応募は出来ません。

### 3. 助成対象外の研究

3-1 日本国内で行われない研究

3-2 同一の研究について国及び他機関より助成金を受けている研究(当社以外の研究助成への申請を妨げるものではありませんが、応募時点で既に他から助成を受けている場合は、申請できません。また、他からの助成を受ける場合は当社の助成対象から外れますので、応募した後に他からの助成が決定した場合は、対応につき速やかに当事務局とご協議ください。)

3-3 複数の機関・施設による共同研究

3-4 すでに実施済みの研究、もしくは現在進行中の研究(ただし、これらの研究と関連のある研究は申請出来ます)

3-5 本「GSK 研究助成」によって受領後(受領した年を含めて)2年以内の研究者

3-6 当社および他社で販売している製品(有効成分)を使用する研究

3-7 疫学調査

3-8 臨床試験

#### 注意事項:

- 1) ヒトの血液・組織などを扱う基礎研究の内、「ヒトの受精卵、または胎児由来の組織や細胞を使用する研究」は助成対象外となります。
- 2) その他のヒト由来のサンプル(血液・体液・DNA・組織等)を使用する場合は、各施設の倫理委員会の承認および提供者の同意書を取得して下さい。
- 3) 当社製品、または、その有効成分を使用する研究、または、疫学調査の具体的な提案がある場合、本制度とは別の支援制度が GSK グローバルサイト(<https://iss.gsk.com/>)にごございますのでご覧下さい。

#### 4.応募方法

応募者は指定された応募申請書をもってご応募ください。

但し、2014年 GSK ジャパン研究助成にご応募できる件数は1研究者1件のみとなります。

#### 5.応募期間

2014年4月1日～2014年6月30日必着

#### 6.助成金額

「12. 募集する分野」に示す各分野において募集します。

助成金額は、原則として、一研究に対して200万円以内です。

なお、助成する研究の総数は約100件程度を予定しております。

#### 7.助成する研究の期間

開始：2014年10月1日から2014年12月31日までの間に開始する

終了：2016年3月31日までに論文投稿を完了する

注) 開始とは申請された研究のプロトコールに則って研究が開始される日

#### 8.審査

8-1 提出頂いた資料をもとに外部有識者で構成される審査委員会にて決定されます。

8-2 審査委員は募集する分野の専門家から選出されます。

8-3 審査基準は、研究の独創性、研究計画の完成度、予算の妥当性などをもとに審査されます。

8-4 グラクソ・スミスクライン株式会社から学術的バックグラウンドを有する者一名が、審査委員会に参加しますが、投票権は持ちません。

#### 9.審査結果の通知と発表

2014年10月下旬までに、応募申請書に記載されている応募者および、その所属する機関の長宛てに審査結果を郵送で通知し、当社ホームページ上で氏名と所属などを発表します。

#### 10.助成金の交付方法と期日

10-1 交付方法：所属機関が指定する口座に助成金を振り込みます。

10-2 交付期日：2014年10月中を予定しております。

#### 11.助成金の使途

11-1 応募申請書の記載通りの使用を原則、助成期間内に使い切ることとします。

11-2 助成金を使わなかった場合または助成金が余った場合は、原則、返却していただきます。

11-3 助成金の使途を変更する場合、または助成金対象の研究内容に重要な変更が生ずる場合は速やかに当事務局に連絡してください。内容により審査委員会に諮ります。

11-4 建物等施設、通常備えるべき什器、職員の人件費、その他この助成金による研究に関連性の無い経費に助成金を使用することはできません。

## 12. 募集する分野・疾患

以下の分野カテゴリー毎に対応する対象疾患に関する研究が研究助成の対象となります。

注) 2014年2月28日に当社ホームページに掲載したPDFファイル「【別表】GSK分野カテゴリー別対象疾患一覧」を、一部訂正のうえ本項に統合しました。

助成申請書2ページ「1.研究テーマ」に記載する		助成申請書2ページ「1.研究テーマ」に記載する	
(記号)	分野カテゴリー	(記号)	分野カテゴリー
A)	呼吸器疾患	E)	ニューロサイエンス疾患
	気管支喘息 小児喘息 肺気腫 急・慢性気管支炎 喘息様気管支炎 肺結核 珪肺結核 慢性閉塞性肺疾患 急性気管支炎 肺炎 肺膿瘍 嚔胸		片頭痛 群発頭痛 うつ病・うつ状態 パニック障害 強迫性障害 社会不安障害 てんかん 双極性障害 パーキンソン病 眼瞼痙攣 片側顔面痙攣 瘻性斜頸 上肢痙攣 下肢痙攣 原発性腋窩多汗症 外傷後ストレス障害
B)	アレルギー疾患・耳鼻咽喉・皮膚感染症	F)	肺高血圧症
	アレルギー性鼻炎 血管運動性鼻炎 蕁麻疹 湿疹・皮膚炎 アトピー性皮膚炎 痒疹 皮膚そう痒症 表在性皮膚感染症 深在性皮膚感染症 慢性膿皮症 ざ瘡 咽頭・喉頭炎 扁桃炎 外耳炎 中耳炎 副鼻腔炎 関節リウマチ		肺動脈性肺高血圧症
C)	泌尿・生殖器疾患	G)	感染症
	前立腺肥大症 小児固形腫瘍 (泌尿・生殖器) 悪性軟部腫瘍 (泌尿・生殖器) 腎癌 膀胱炎 腎盂腎炎 前立腺炎 精巣上体炎 (副睾丸炎) 尿道炎 性器ヘルペス バルトリン腺炎 淋菌感染症 子宮内感染 子宮付属器炎 子宮旁結合織炎 子宮頸癌		リンパ管・リンパ節炎 乳腺炎 肛門周囲膿瘍 感染性心内膜炎 腹膜炎 胆嚢炎 胆管炎 肝膿瘍 麦粒腫 瞼板腺炎 化膿性唾液腺炎 敗血症 B型肝炎 単純疱疹 帯状疱疹 水痘 脳炎 髄膜炎 化膿性髄膜炎 新生児単純ヘルペスウイルス感染症 角膜炎 マラリア 包虫症 HIV感染症 ニューモシスチス肺炎 インフルエンザ
D)	悪性腫瘍・血液疾患	H)	口腔ケア
	白血病 悪性リンパ腫 血小板減少症 多発性骨髄腫 小児固形腫瘍 (泌尿・生殖器以外) 悪性軟部腫瘍 (泌尿・生殖器以外) 乳癌		う蝕 歯周病 Tooth WDCrほか義歯ケア関連
		I)	分子生物学
		J)	医学教育
		K)	疫学理論・生物統計学*
		A)～H)分野の全ての対象疾患を含む	

\* 特定の集団における健康に関連する状況・事象の分布あるいは規定因子を究明するにあたり、使用される手法や方法論をさします。なお、3-7に記されたように、個々の疾患の疫学調査は、今回の研究助成から除外されます。

### 1 3.研究成果および会計報告

研究報告：研究成果を外部に発表される場合は“「GSK 研究助成」による 研究助成である”ことを明記していただき、発表された論文の別刷または学会発表のアブストラクトを当事務局宛てご提出ください。また、研究の進捗状況を 2016 年 3 月末までに当事務局宛てに提出することを必須としますが、論文投稿に関しては期間にかかわらず事務局宛てご報告いただく必要があります。

会計報告：2016 年 3 月末までに会計報告書を当事務局宛てに送付してください。

### 1 4.その他

1 4-1 助成対象者として相応しくない行為があったときは、助成を取り止めたり、研究助成金の返還を求めることがあります。

1 4-2 当事務局が本助成に関して取得する個人情報、審査作業に関連する業務に必要な範囲に限定して取り扱います。

1 4-3 本助成に関しては「グラクソ・スミスクライン 透明性に関する指針」に則り、当社ホームページ上で情報開示させていただきます。

以上

## 研究助成申請時の留意事項

申請に際しては「応募要領」を熟読の上、以下の事項に従ってください。

### 1. 応募書類

申請に必要な書類は、当社ホームページからダウンロードし作成してください。

### 2. 入力方法

「研究助成申請書」の入力は以下の要領に従ってください。

- ① ファイルへの入力は、「日本語 MS 明朝体」、「アルファベット Arial」、「カラー可」にて、それぞれ「11 ポイント」としてください。
- ② 申請書の記載項目は、記入枠内とし**記入枠の拡大やページ追加はしない**でください。
- ③ 申込者欄の所属機関名、講座・教室名は、正式名称を記載ください。
- ④ 研究テーマの「分野」「疾患」は、応募要領「12. 応募する分野」および添付の別表を参照のうえ、それぞれ記載ください。  
※以下に記載した「4. 募集する分野の修正事項」を参照ください
- ⑤ 申請金額は、**研究に必要とする妥当な金額を 200 万円以内**にて記載ください。  
尚、その金額が研究内容からみて相当でない額と認められる場合は、採択されないことがあります。
- ⑥ 申請者の主な業績（論文・著書・学会発表・研究略歴）の項目
  - ・発表した論文・著書・学会発表のうち、現在から順に年度を遡って記入ください。
  - ・発表論文の場合は、論文名、著者名（申請者名には下線）、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）の順に記入ください。
  - ・著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略ください（省略する場合、「・他」「, et al」を使用）
  - ・欧文雑誌名の省略は **index Medicus** に従い、和文雑誌は公式の略称を使用ください。
  - ・インパクトファクター（IF）を、併せて記入ください。
  - ・学会発表は、発表者、題目、学会名、場所、発表年（西暦）の順に記入ください。
  - ・研究略歴は、どのような研究を行ってきたのか、研究内容とともに特筆すべき事項（受賞歴等）を簡潔に記入ください。

### 3. ヒトサンプルを研究に用いる場合の追補事項

- ① 「ヒトの受精卵、または胎児由来の組織や細胞を使用する研究」は助成対象外となり、応募要領「3. 助成対象外の研究」に追加されます。
- ② 注意事項  
「その他のヒト由来のサンプル（血液・体液・DNA・組織等）を利用する場合は、各施設の倫理委員会の承認および提供者の同意書を取得してください。」

#### 4. 提出書類・ファイル

応募は、以下①～④の書類、および、①のファイルを提出ください。

提出後の書類・ファイルの差替えは認められませんのでご注意ください。

- ① 「2014年 グラクソ・スミスクライン研究助成申請書」 [片面印刷]・[word ファイル]
- ② 研究助成金の施設受入に必要な所属機関の指定する申請書（寄附申込書等）
- ③ 同意書（研究助成） [片面印刷]
- ④ 確認書（研究助成） [片面印刷]

#### 5. 応募先

##### ① 書類郵送先

〒151-5786

東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目6番15号 GSKビル

グラクソ・スミスクライン株式会社 GSK 研究助成事務局 宛

注意：必ず簡易書留にて郵送ください。

##### ② ファイル送付先

GSK 研究助成事務局

e-mail:jp.gsk-grant@gsk.com

※メールの件名およびファイル名は以下に従ってください

件名：GSK 研究助成申請 2014

ファイル名：フルネーム/ローマ字表記 例) 山田太郎 ⇒ yamada\_taro

#### 6. 応募締切日

2014年6月30日（月） GSK 研究助成事務局 必着

#### 7. お問い合わせ先

本応募要領等に関するお問い合わせは、下記メールアドレスへ直接ご連絡下さい。

グラクソ・スミスクライン株式会社

GSK 研究助成事務局

e-mail:jp.gsk-grant@gsk.com

#### 8. その他

- ① 研究成果を外部に発表される場合は、以下の助成である旨記載ください。

「GSK ジャパン研究助成（英文名：GSK Japan Research Grant）」

- ② 審査内容に関するお問い合わせはお受けできません。また、採否にかかわらず応募書類の返送はいたしません。

◎申請内容の秘密保持

審査委員および研究助成業務にあたる GSK 社員は、GSK「情報取扱い手順書」に従い、申請内容に関する秘密保持の義務を持ちます。

◎ 個人情報に関する取り扱い

ご記入いただいた個人情報は、寄附に関する業務に利用させていただきます。また、個人情報の保護に関する法律、関連諸法令、関連省庁等のガイドラインを遵守し、当社プライバシーポリシーに則って適切に取り扱います。

当社プライバシーポリシーは、次のホームページからご確認ください。

<http://glaxosmithkline.co.jp/legal/privacy.html>

以上